



# まちづくりかわら版

◇話題満載のHP! ⇒ <http://www.himesen.com/>  
 こちらもご覧ください。(右下にスマホ用リンク・QRコード有)

himesen 検索



特定非営利活動法人 歴史と出会えるまちづくり船場城西の会

事務局●下山裕史 〒670-0035 姫路市琴岡町 266-1 tel:090-3351-7965 fax:079-296-0738



## 船場城西地区 ↑↑まちあるき!

6月16日(火) コロナ対応自  
 粛していた定例会を約4か月ぶ  
 りに開催しました。



6月26日(金) 船場小学校6年生を対象に地区の史跡や老舗を  
 巡るまちあるきをしました。県の補助金を活用し、当会で作成した  
 ガイドブック「船場城西逍遥指南之書」(下記)を使用しました。



**旧飾磨県庁跡**  
 1871年(明治4)、姫路藩(のち兵庫県)が姫路城内の重宝所跡  
 に移設された。姫路府庁舎を改築し、1976年(明治91)、  
 姫路市に譲渡された。ところが昭和31年、政府の方針で兵庫県  
 の府庁舎への移転が決定された。移転はその後、市会職  
 員館として1914年(大正3)まで使用された。



**黒人町とごぎり横丁**  
 城下町成立後の江戸時代初期に作られた町ひとつで、この町は  
 商人・職人・足軽に定住して農夫がいたため商人町と呼ばれる  
 ようになった。町並みゴゴロリの方のようにジグザグに弯っている  
 ことが特徴的で、その理由については諸説あるが、一般的には  
 城を守るための防壁として考案されたといわれている。



**景福寺**  
 景福(景福寺)。寺は鎌倉末の景福寺が建てられた所で、1754年より  
 江戸末の景福寺。景福寺が明治より移転し現存する。境内には  
 寛永三十四年の景福寺の山門の土蔵一棟は鎌倉時代の遺構で、  
 鎌倉や古寺の中にも鎌倉室町時代の仏教が多数あり、山  
 上には江戸時代以前の遺構、和洋折衷の遺構がある。(下欄参照)



**見星寺**  
 見星(見星寺)。寺は室町時代からあるといわれる。鎌倉・室  
 多政能が母の持屋院(即ち一徳院の別名)を創設するために  
 建てた寺で、室町時代には見星の公の菩提寺。政能本人は室町  
 中興牛久保(備前高門)の御所がある。境内には1649年に記さ  
 れた船場川堤防の築造時や江戸幕府の築造時などがある。



**砂川漆工芸**  
 江戸時代からの伝統の漆工芸。慶長4年(1624)に創業  
 した漆工芸。漆工芸の技術を活かし、漆のたんぱく質をはじめと  
 する漆の成分が豊富に含まれており、その数は180  
 種を超える。タイミングが合えば、漆の塗り直しなどの作業  
 を見学できることも。



**吉田町と橋屋味噌店**  
 吉田町の町名由来は、赤田藩が姫路藩初代藩主として三浦  
 田村主から移った所。ひいおの商人や職人を連れてここ  
 に来られたこととよから思われている。橋屋味噌店はその  
 一軒として今に残る貴重な商家であり、味噌、醤油、甘酒の製造販  
 売を現在も継続している。



**景福寺山上からの眺め**  
 1868年(明治4) 正月、藩政の廃れの中で船場城は降伏・無血  
 降参するが、その際に官軍(薩長藩)による砲撃が行われた場所  
 である。2017年(平成29)11月、姫路城天守閣復元を記念して  
 の観光自衛隊ブルーインパズ(舞)が祝賀飛行をきっかけに写真映  
 射スポットとして知られるようになった。



**船入川**  
 筑紫橋の下を通って船場川と合流する船入川は舟物の積み下ろし  
 場や船乗り場であった。  
 現在もその名残が残り、川沿いの児童公園として使われてい  
 る。往時は木橋が架けられ、船場の船乗り場や舟乗り場を  
 通った。渡し場などもあった。



## 船場城西地区 ♣♣まちあるき2



6月29日(月) 26日に続き、  
 船場小学校の児童たちと本徳  
 寺や行在所などを回りました。

## 第76回◆◆ ◆◆船場御坊楽市



7月5日(日) イベント自粛が  
 緩和され、4か月ぶりの楽市を  
 開催しました。

### 2020年 活動予定

◇船場御坊楽市の開催

令和2年9月6日(日)、12月6日(日) 時間 朝9:00~昼12:00

◇まちあるき

令和2年10月25日(日) 朝9:30~午前中 姫路駅中央改札前集合

会費納入のお願い

令和2年度分の年会費(1000円)の納付をお願い致します。

事務局への持参、楽市受付、又は振込で

振込先/播州信用金庫 船場支店 (普)8977591

特定非営利活動法人 歴史と出会えるまちづくり船場城西の会

(船場城西の会 HP スマホ用リンク・QRコード) ⇒



会員・スタッフ募集 定例会を一度のぞいてみませんか。(西新町スペースラボ北棟Bにて毎月開催。詳細は事務局まで)

# 船場・城西－温故知新

シリーズ(20) ・昭和 30～40 年代の●岡町、●材木町

毎号に少しずつですが、昔の船場・城西周辺の景観写真や地図等、往時を今に伝える史料を掲載しています。姫路はお城以外にも多くの歴史が詰まった街です。私たちの街の歴史がわかると、今の街並みをもっと輝いて見えてきますよ。



写真\_A 岡町



写真\_B 材木町



まちづくりかわら版では、兵庫県立歴史博物館所蔵の高橋秀吉コレクションの写真を中心に、昭和30～40年頃の船場・城西地区各町の様子を順次紹介していきます。半世紀前の船場・城西の町がどんな様子だったのか、町にどのような歴史があったのか、現在の町の様子と比べて思いを巡らせてみて下さい。

・写真\_A 岡町 (昭和43年7月/岡町から北望:今井診療所の前)  
 写真の溝の向こうにあるのは当時広い敷地に建っていた「今井診療所」です。その後、道路は拡幅され、診療所のあった場所は時代の移り変わりとともにガソリンスタンド、眼科医院と変わりました。また、この付近には裁判所があったため、道路と景福寺山の間には、何軒もの代書屋さんがありました。

・写真\_B 材木町 (昭和44年7月/市ノ橋の西詰から東望)  
 写真中央部分に船場川に掛かったアーチ形状の市之橋上部が写っています。当時は土手から川や堀に降りられ、この橋のまわりでは、フナやザリガニ捕りなどの水遊びをする子供たちで賑わっていました。紙面作成・編集:原 隆 校了:下山裕史